

生物牙膏杀菌实验

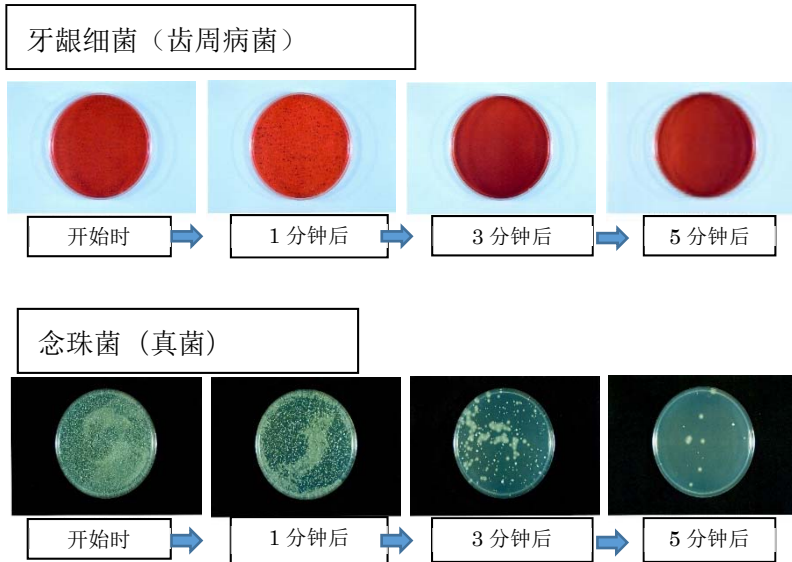


第 16000977001-0201 号 page 3/10

表-1 試料の生菌数測定結果

試験前	対象	濃度	生菌数 (cfu)			
			開始時*	1分後	3分後	5分後
ジンジバリス菌	検体	2倍希釈	2.6×10 ⁷	8.1×10 ⁶	<100	<100
	対照	***	2.6×10 ⁷	2.6×10 ⁷	1.7×10 ⁷	1.8×10 ⁷
カンジダ	検体	2倍希釈	3.7×10 ⁵	7.1×10 ⁴	3.2×10 ³	1.7×10 ²
	対照	***	3.7×10 ⁵	—	—	5.4×10 ⁴

—: 実施せず
対照: 精製水
保存温度: 室温(カンジダは30℃)
<100: 検出せず
* 菌液接種直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした。
** 菌液接種直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした。



“杀菌实验”结果 将本产品 2 倍稀释后使用

- 牙龈细菌（齿周病菌）1 分钟后减少至 5%，3 分钟后无法检出
- 念珠菌（真菌）1 分钟后减少至 20%，3 分钟后减少至 1%，5 分钟后减少至约 0.05%

生物牙膏抗菌实验



第 16000977001-0101 号 page 4/7

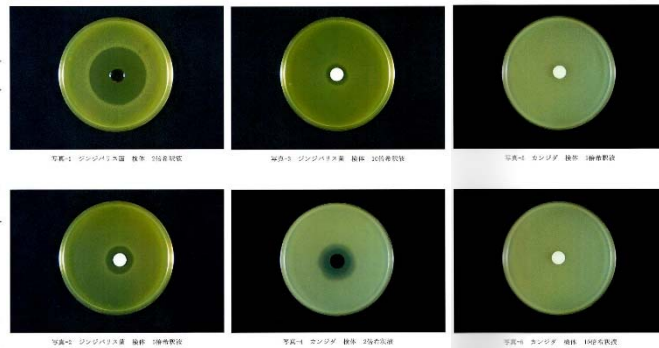
4 試験結果

結果を表-3に示した。また、培養終了時の平板培地の一例を写真1~6に示した。

表-3 試験片の試験菌に対するハロー(増殖阻止帯)形成の有無

試験菌	菌濃度 (/mL)	対象	濃度	ハローの有無*
ジンジバリス菌	4.6×10 ⁶	検体	2倍希釈 ¹⁾	+ (16.2 mm)
			5倍希釈 ²⁾	+ (4.8 mm)
			10倍希釈 ²⁾	+ (2.0 mm)
		対照 ²⁾	***	—
カンジダ	7.3×10 ⁶	検体	2倍希釈 ¹⁾	+ (2.5 mm)
			5倍希釈 ²⁾	—
			10倍希釈 ²⁾	—
		対照 ²⁾	***	—

+ : ハローを認める
— : ハローを認めず



“抗菌实验”结果 (试验时长 2 天)

- 牙龈细菌（齿周病菌）10 倍稀释效果得到认定
- 念珠菌（菌类）2 倍稀释效果得到认定

『A 型流行性感冒病毒』の失活实验

实验编号 : AVSAVSAVS-047-160205 (2) (编辑)

实验目的

本实验的目的是检测实验委托者提供的“刷牙牙膏”对病毒的失活效果。对象病毒选定为“A 型流行性感冒病毒”。

被験物質: 歯磨きペーストタイプ

対象ウイルス	処理時間	ウイルス不活化効率 (単位:%)
A型インフルエンザウイルス (株名:A/WSN/33, H1N1)	5 min.	> 99.98
	30 min.	> 99.91

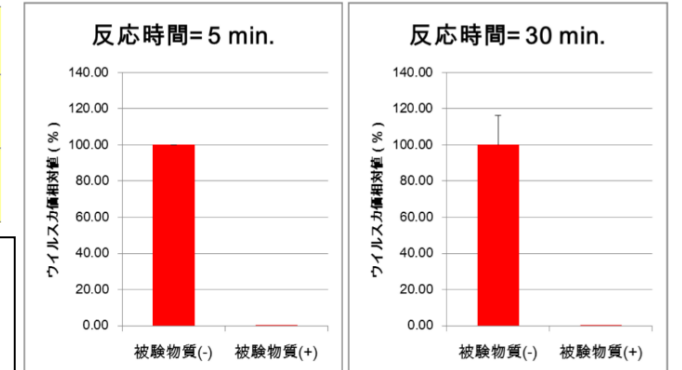


Fig.1: インフルエンザウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~
グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群 (陰性対照群) の感染性ウイルスカラムを 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示しており、試験は N=2 (duplicate) で実施した。

实验结果

在反应时长为 5 分钟及 30 分钟的情况下, 可以确认检测物质“生物牙膏”有使 A 型流行性感冒病毒的感染病毒失活的效果。

※刷牙牙膏使用的是“生物牙膏”

『诺如病毒 (诺瓦克病毒)』の失活实验

实验编号 : AVSAVSAVS-047-160205 (2) (编辑)

实验目的

本实验的目的是检测实验委托者提供的“刷牙牙膏”对病毒的失活效果。对象病毒选定为“诺如病毒”。

被験物質: 歯磨きペーストタイプ

対象ウイルス	処理時間	ウイルス不活化効率 (単位:%)
ネコカリシウイルス (株名:F9) ※ヒトノロウイルス代替	5 min.	> 99.98
	30 min.	> 99.81

表 2: 本試験結果の総括

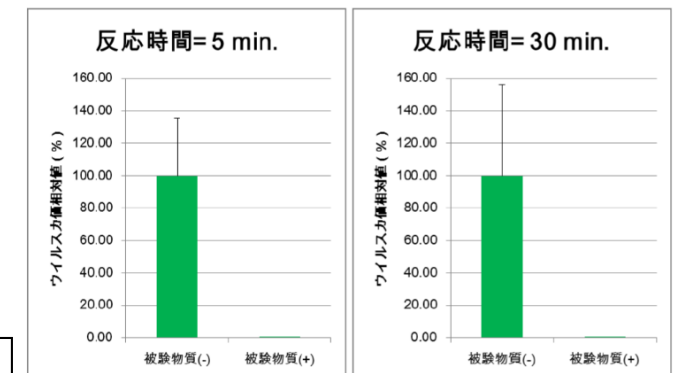


Fig.2: ネコカリシウイルス不活化試験結果 ~ グラフ ~
グラフ縦軸は各反応時間における被験物質非添加群 (陰性対照群) の感染性ウイルスカラムを 100%とした相対値を示している。グラフのエラーバーは標準偏差を示しており、試験は N=2 (duplicate) で実施した。

实验结果

在反应时长为 5 分钟及 30 分钟的情况下, 可以确认检测物质“生物牙膏”有使诺如病毒的感染病毒失活的效果。

※刷牙牙膏使用的是“生物牙膏”